

教会暦のおさらい

降臨節第1主日（今年は12月2日）から、教会の1年はスタートします。
別冊の「特禱・聖餐式聖書日課」（今年はC年）
「降臨節は降誕日前の4主日目から」（祈禱書1p）

降臨節 降臨節第1主日～降誕日（12月25日）の前日まで
降誕節 降誕日（12月25日）～顕現日（1月6日）の前日まで
顕現節 顕現日（1月6日）～大斎始日（灰の水曜日）の前日まで

英国聖公会が第一祈禱書を作成した際の降臨節の祈禱課題

- 第1主日「キリストが与えられたことを感謝する」
- 第2主日「聖書が与えられたことを感謝する」
- 第3主日「教職が降誕の備えをする」
- 第4主日「再臨への備えをする」

降臨節第1主日

教会暦のはじめの主日

降臨節第2主日

「聖書日曜日」（バイブル・サンデー）英国聖書協会が広めた

降臨節第3主日

「聖職按手節」（冬季）「喜びの日曜日」（ローズサンデー）

降臨節第4主日

クリスマス休暇の無い日本では「降誕日」として礼拝することが多い
本聖餐式のインテンション（intention）は「降誕日」などを使う
【intention】ある方向へ心を伸ばせること。「意図」「志向」

この期間の固定祝日

- 12月21日 使徒聖トマス日
- 12月25日 降誕日
- 12月26日 最初の殉教者聖ステパノ日
- 12月27日 福音記者使徒聖ヨハネ日
- 12月28日 聖なる幼子の日
- 01月01日 主イエス命名の日（ルカ 2:21）
- 01月06日 顕現日

クリスマスの呼び方（語源は必ずしも同じじゃない）

- 日本語 「降誕日」
- 英語 「Christmas（クリスマス）」
- フランス語 「Noël（ノエル）」
- ギリシア語 「Χριστούγεννα（クリストゥ・ゲナ）」
「キリストの誕生」を意味する（γέννα：誕生）

クリスマスの起源

正確にはわかってない(笑 遅くとも 345 年には西方教会で始まった模様。
歴史学者はもとより、神学者の間でも「12 月は無いわぁ」だそうです。
夜通し羊の番をしていた羊飼いの元に天使がキリストの誕生を告げる物語
(ルカによる福音書 第 2 章 8 節 ~)
「北半球の 12 月に野宿できるかい！」が主な理由です。
クリスマスはイエス・キリストの誕生日というよりは、降誕を祝う日。

聖書の記述 (イエス誕生前)

マリアの立場 (ルカ 1:26-38)
ヨセフの立場 (マタイ 1:18-25)

インマヌエル (神はわたしたちと共にいる)

ヘブライ語で、「インマヌ (わたしたちと共にいる)」と「エル (神)」

*それゆえ、わたしの主が御自ら / あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめ
が身ごもって、男の子を産み / その名をインマヌエルと呼ぶ。*
(イザヤ書 7:14)

*「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、
「神は我々と共におられる」という意味である。*
(マタイ 1:23)

イエス (「神は救い」「救う者」)

キリスト (「油注がれた者」)

神が人となった (受肉)

イエスは、完全な神であり、完全な人間